

・下記で使用したデータは過去の実績であり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
 ・市場の休場等の場合は前日の値を使用します。

## 日本の株式市場

### 市場の動向

日本の株式市場の代表的な指数である東証株価指数(TOPIX)は、12月29日比で3.45%上昇しました。  
 米国や中国の経済指標が堅調であったことなどから、年始の海外株式市場が米国株式市場を中心に上昇したことを受けて、日本株式市場も大きく上昇しました。株価が出遅れていた証券株や原油価格の上昇などのメリットを享受する資源関連株、主要通貨に対する円安傾向が好感された輸出関連株などの上昇幅が大きく、2018年の日本株式市場は約26年ぶりの高値水準でスタートしました。

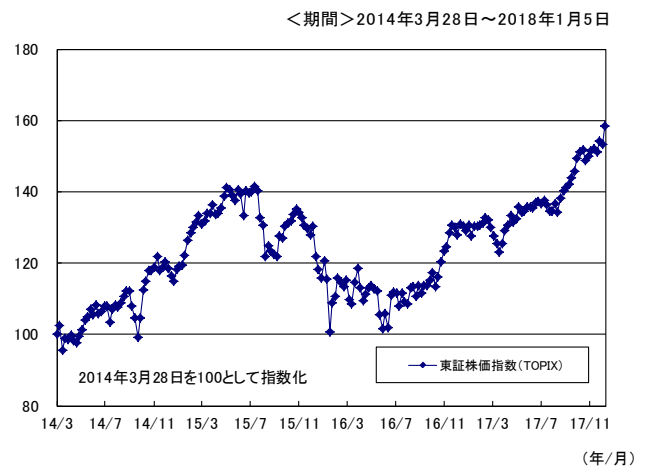
### 今後発表予定の主な経済指標など

- 12日 国際収支(11月)

など

騰落率がプラスの場合: 😊  
 騰落率がマイナスの場合: 😞  
 騰落率が横ばいの場合: 😐

先週の騰落率	先週の相場動向
3.45%	😊



<出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成  
 東証株価指数(TOPIX)の指数値及びTOPIXの商標は、株式会社東京証券取引所(以下「東証」といいます。)の知的財産であり、株価指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利及びTOPIXの商標に関するすべての権利は東証が有します。

## 世界の株式市場

### 市場の動向

世界の株式市場の代表的な指数であるMSCI-KOKUSAI指数は、12月29日比円ベースで、3.01%上昇しました。  
 米国株式市場(現地通貨ベース)は、堅調な経済指標などを背景に、2018年も米国経済が引き続き好調を維持できるとの期待が高まったことや、昨年11月下旬に大きく下落した半導体関連銘柄が反発したことなどから上昇しました。  
 欧州株式市場(現地通貨ベース)は、好調な海外株式市場を受けて楽観的なムードが高まったことや、週後半に発表された経済指標を受けて欧州におけるインフレ圧力の高まりが当面は期待できないとし、ECB(欧州中央銀行)における金融緩和政策が継続されることへの期待が高まったことなどから、上昇しました。  
 アジア(日本を除く)オセアニア株式市場(現地通貨ベース)は、資源価格の上昇や好調な海外株式市場を背景に上昇しました。

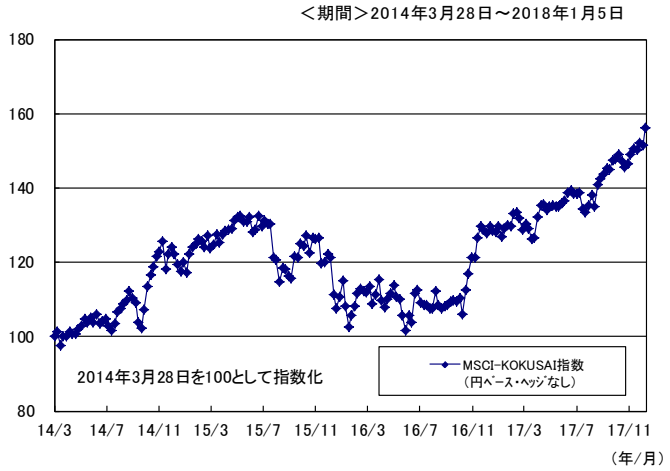
### 今後発表予定の主な経済指標など

- 9日 独鉱工業生産指数(11月)
- 9日 ユーロ圏失業率(11月)
- 12日 米CPI(消費者物価指数、12月)
- 12日 米小売売上高(12月)

など

騰落率がプラスの場合: 😊  
 騰落率がマイナスの場合: 😞  
 騰落率が横ばいの場合: 😐

先週の騰落率	先週の相場動向
3.01%	😊



<指数出所>FactSetからのデータを基に野村アセットマネジメント作成  
 <為替出所>当該日ロンドン時間16時発表のWMOロイターの為替レートを基に野村アセットマネジメント作成  
 MSCI-KOKUSAI指数は、MSCIが開発した指数であり、同指数に対する著作権、知的財産その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

## 日本の債券市場

・下記で使用したデータは過去の実績であり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
・市場の休場等の場合は前日の値を使用します。

### 市場の動向

日本の債券市場の代表的な指数であるNOMURA-BPI総合は、12月29日比で0.07%下落しました。

日本債券市場は、好調な国内株式市場を背景に、投資家心理が改善し国債への需要が減退したことや、翌週に予定されている10年債及び40年債の入札に対する警戒感などから下落しました。

長期金利の指標となる10年国債利回りは、12月29日比で上昇(価格は下落)し、0.063%となりました。

### 今後発表予定の主な経済指標など

- 9日 毎月勤労統計

など

	2017/12/29	2018/1/5	変化幅
日本10年国債利回り*	0.048%	0.063%	0.015%

※ブルームバーグ・ジェネリック10年国債利回り

<出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

騰落率がプラスの場合: 😊

騰落率がマイナスの場合: 😞

騰落率が横ばいの場合: 😐

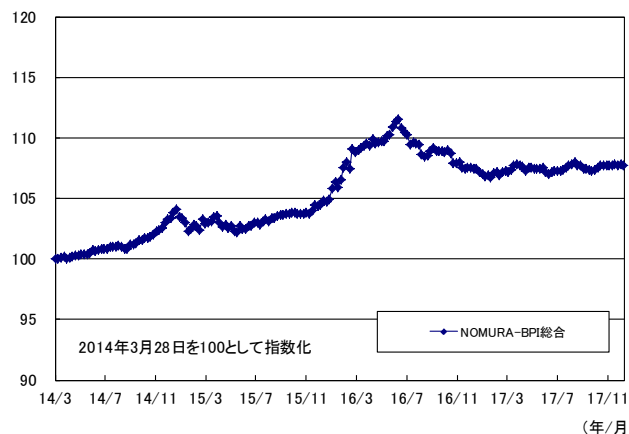
先週の騰落率

**-0.07%**

先週の相場動向



<期間>2014年3月28日～2018年1月5日



NOMURA-BPI総合	2017/12/29	2018/1/5	騰落率
	380.51	380.25	-0.07%

<出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

NOMURA-BPI総合は、野村証券株式会社が作成している指数で、当該指数に関する一切の知的財産権とその他の権利は野村証券株式会社に帰属しております。また、野村証券株式会社は、当該インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

## 世界の債券市場

### 市場の動向

世界の債券市場の代表的な指数であるシティ世界国債インデックスは、12月29日比円ベースで、0.53%上昇しました。外国為替市場における円安が上昇要因となりました。

米国債券市場(現地通貨ベース)は、12月の米ISM(サプライマネジメント協会)製造業景況感指数や12月の米ADP雇用統計などの経済指標が市場予想を上回ったことなどを背景に、債券利回りは上昇(価格は下落)しました。

欧州債券市場(現地通貨ベース)は、週初にECB高官が10月に決定された資産買入プログラムの延長が最後となる可能性に言及したことなどから、ドイツ国債利回りは上昇しました。

為替は、12月29日比で円/ドルレートは円安・ドル高、円/ユーロレートは円安・ユーロ高となりました。

### 今後発表予定の主な経済指標など

- 9日 独鉱工業生産指数(11月)
- 9日 米国債入札
- 10日 英鉱工業生産指数(11月)
- 12日 米CPI(12月)
- 12日 米小売売上高(12月)

など

	2017/12/29	2018/1/5	変化幅
米国10年国債利回り*	2.405%	2.476%	0.071%
ドイツ10年国債利回り*	0.427%	0.439%	0.012%

騰落率がプラスの場合: 😊

騰落率がマイナスの場合: 😞

騰落率が横ばいの場合: 😐

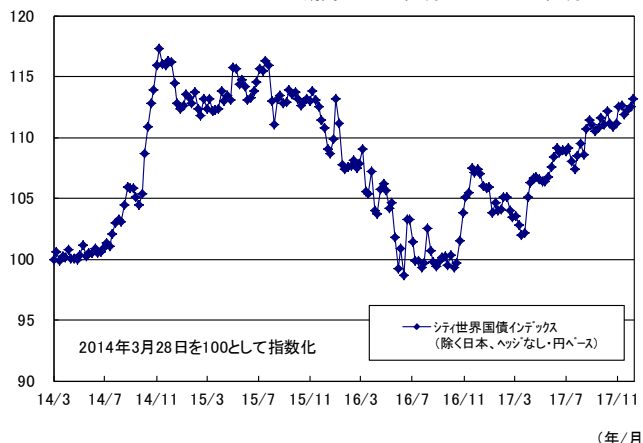
先週の騰落率

**0.53%**

先週の相場動向



<期間>2014年3月28日～2018年1月5日



シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	2017/12/29	2018/1/5	騰落率
	465.18	467.66	0.53%
円/ドル	112.65円	113.23円	0.51%
円/ユーロ	135.27円	136.29円	0.75%

<指数出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

<為替出所>当該日ロンドン時間16時発表のWMロイターの為替レートを基に野村アセットマネジメント作成

シティ世界国債インデックスは、Citigroup Index LLCの知的財産であり、指数の算出、数値の公表、利用など指数に関する全ての権利は、Citigroup Index LLCが有しています。

<出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

※ブルームバーグ・ジェネリック10年国債利回り

・下記で使用したデータは過去の実績であり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
・市場の休場等の場合は前日の値を使用します。 ・REITとは、不動産投資信託証券を指します。

## 日本のREIT市場

### 市場の動向

日本のREIT市場(J-REIT市場)の代表的な指数である東証REIT指数は、12月29日比で0.33%上昇しました。国内株式市場が上昇したことや、世界的な同時株高を受けて投資家心理が改善したことなどが背景にあります。

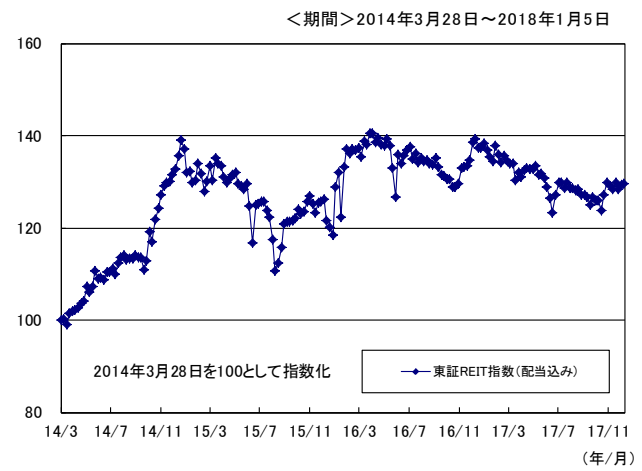
### 今後発表予定の主な経済指標など

- 9日 毎月勤労統計

など

騰落率がプラスの場合: 😊  
騰落率がマイナスの場合: 😞  
騰落率が横ばいの場合: 😐

先週の騰落率	先週の相場動向
0.33%	😊



東証REIT指数(配当込み)	2017/12/29	2018/1/5	騰落率
	3,189.59	3,200.19	0.33%

<出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成  
東証REIT指数の指数値及び東証REIT指数の商標は、株式会社東京証券取引所(以下「東証」といいます。)の知的財産であり、東証REIT指数の算出、指数値の公表、利用など東証REIT指数に関するすべての権利及び東証REIT指数の商標に関するすべての権利は東証が有します。

## 世界のREIT市場

### 市場の動向

世界のREIT市場の代表的な指数であるS&P先進国REIT指数は、12月29日比円ベースで、0.95%下落しました。  
米国REIT市場(現地通貨ベース)は、米10年国債利回りが上昇したことや、10-12月期のニューヨーク市マンハッタンの中古住宅販売件数が前年同期比で減少したことなどが背景となり、下落しました。  
欧州REIT市場(現地通貨ベース)は、強弱入り混じる経済指標が発表されたことで、各国まちまちの動きとなり、週間ではほぼ横ばいとなりました。  
豪州REIT市場(現地通貨ベース)は、住宅関連の指標が前月比で低下したことなどから、下落しました。

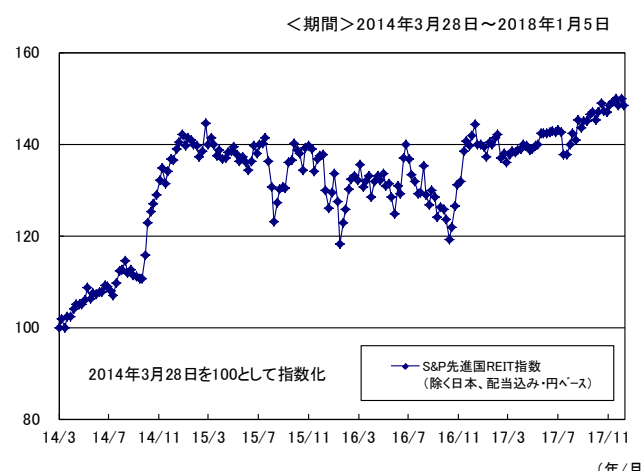
### 今後発表予定の主な経済指標など

- 9日 独鉱工業生産指数(11月)
- 10日 英鉱工業生産指数(11月)
- 12日 米CPI(12月)
- 12日 米小売売上高(12月)

など

騰落率がプラスの場合: 😊  
騰落率がマイナスの場合: 😞  
騰落率が横ばいの場合: 😐

先週の騰落率	先週の相場動向
-0.95%	😞



S&P先進国REIT指数 (除く日本、配当込み・円ベース)	2017/12/29	2018/1/5	騰落率
	994.12	984.64	-0.95%
円/ドル	112.65円	113.23円	0.51%
円/ユーロ	135.27円	136.29円	0.75%

<指数出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成  
<為替出所>当該日ロンドン時間16時発表のWMロイターの為替レートを基に野村アセットマネジメント作成

S&P先進国REIT指数はスタンダード&プアーズファイナンシャル サービスーズ エル エル シーの所有する登録商標です。

## 新興国の株式市場

### 市場の動向

新興国の株式市場の代表的な指数であるMSCI エマージング・マーケット・インデックスは、12月29日比円ベースで、4.23%上昇しました。

中国株式市場(現地通貨ベース)は、金利低下や好調な住宅販売を好感した不動産株や、原油価格の上昇が追い風となったエネルギー株などを中心に上昇しました。

ロシア株式市場(現地通貨ベース)は、米国や中国の好調な経済指標の発表を背景に、世界経済の回復期待が高まったことや原油価格の上昇などを受けて上昇しました。

ブラジル株式市場(現地通貨ベース)は、世界経済回復期待や商品市況の上昇などから上昇しました。

南アフリカ株式市場(現地通貨ベース)は、与党党首選以降、経済改革期待から上昇していた金融株などに利益確定売りが広がった一方、不正会計疑惑で大幅下落していた小売株が反発したことなどから、週間ではほぼ横ばいとなりました。

### 今後発表予定の主な経済指標など

- 11日 南アフリカ製造業生産指数(11月)
- 12日 中国貿易収支(12月)

など

騰落率がプラスの場合: 😊

騰落率がマイナスの場合: 😞

騰落率が横ばいの場合: 😐

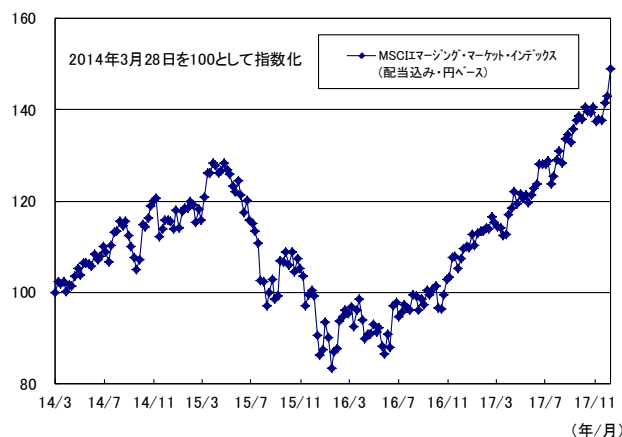
先週の騰落率

4.23%

先週の相場動向



<期間> 2014年3月28日～2018年1月5日



MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み・円ベース)	2017/12/29	2018/1/5	騰落率
	2,339.99	2,438.90	4.23%

<出所> FactSetからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCIが開発した指数であり、同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有していません。

## 新興国の債券市場

### 市場の動向

新興国の債券市場の代表的な指数であるJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドは、12月29日比円ベースで、2.30%上昇しました。

南アフリカでは、与党アフリカ民族会議(ANC)でズマ大統領の罷免に向けた協議が進んでいるとの報道を受けて、政治面を巡る混乱の解消が期待されました。このような環境下、同国の債券指数は上昇しました。

ブラジルでは、11月の鉱工業生産指数が前年同月比で市場予想を上回りました。また、原油価格や鉄鉱石などの資源価格が堅調に推移する中で、資源国である同国の債券指数は上昇しました。

### 今後発表予定の主な経済指標など

- 9日 ブラジル小売売上高(11月)
- 9日 メキシコCPI(12月)
- 11日 マレーシア鉱工業生産指数(11月)
- 12日 トルコ経常収支(11月)

など

騰落率がプラスの場合: 😊

騰落率がマイナスの場合: 😞

騰落率が横ばいの場合: 😐

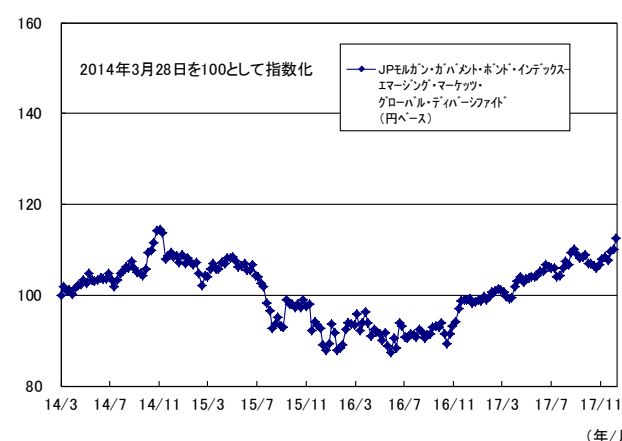
先週の騰落率

2.30%

先週の相場動向



<期間> 2014年3月28日～2018年1月5日



JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)	2017/12/29	2018/1/5	騰落率
	280.04	286.49	2.30%

<出所> ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (JP Morgan Government Bond Index - Emerging Markets Global Diversified) は、J.P. Morgan Securities LLCが公表している、現地通貨建てのエマージング・マーケット債を対象としたインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。



## 【野村アセットマネジメントからのお知らせ】

## ■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし、投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価格が変動します。したがって投資家の皆様のご投資された金額を下回り損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧下さい。

## ■投資信託に係る費用について

2018年1月現在

<p>ご購入時手数料 《上限4.32%(税込み)》</p>	<p>投資家が投資信託のご購入のお申込みをする際に負担する費用です。販売会社が販売に係る費用として受け取ります。手数料率等については、投資信託の販売会社に確認する必要があります。投資信託によっては、換金時(および償還時)に「ご換金時手数料」等がかかる場合もあります。</p>
<p>運用管理費用(信託報酬) 《上限2.1816%(税込み)》</p>	<p>投資家はその投資信託を保有する期間に応じた費用です。委託会社は運用に対する報酬として、受託会社は信託財産の保管・管理の費用として、販売会社は収益分配金や償還金の取扱事務費用や運用報告書の発送費用等として、それぞれ按分して受け取ります。 *一部のファンドについては、運用実績に応じて報酬が別途かかる場合があります。 *ファンド・オブ・ファンズの場合は、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。</p>
<p>信託財産留保額 《上限0.5%》</p>	<p>投資家が投資信託をご換金する際等に負担します。投資家の換金等によって信託財産内で発生するコストをその投資家自身が負担する趣旨で設けられています。</p>
<p>その他の費用</p>	<p>上記の他に、「組入価値証券等の売買の際に発生する売買委託手数料」、「ファンドに関する租税」、「監査費用」、「外国での資産の保管等に要する諸費用」等、保有する期間等に応じてご負担いただく費用があります。運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、野村アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、投資家の皆様にご負担いただく、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をご覧下さい。

投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

商号:野村アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号

加入協会:一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料は、参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。